

グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証委員会殿認定グリーンエネルギーCO₂削減計画の変更申請書

2025年9月26日

(申請者※) 日本自然エネルギー株式会社

代表取締役社長 黒澤 達夫

認定グリーンエネルギーCO₂削減計画の申請内容の変更について、下記の通り申請いたします。

認定グリーンエネルギーCO₂削減計画の概要

認定番号	12-B3-013	認定年月日	2013年3月29日
発電種別	木質バイオマス発電		
計画名	木質バイオマス燃料を利用した発電によるCO ₂ 排出削減		
申請者	日本自然エネルギー株式会社		
発電所名	日本ノボパン木質バイオマス発電所		
発電所所在地	大阪府堺市堺区築港南町4番地		
設備容量	6,500kW		
検証機関名	一般財団法人 日本品質保証機構		

申請内容 (該当する項目に○をつける)

1. 届出内容の変更 2. 認定の廃止 (廃止日: 年 月 日)

変更対象項目	変更前	変更後
モニタリング方法および提出書類	稼働時間エビデンスとして運転時間表示画面写真を提出。	運転時間表示画面写真の提出は不要。DCS運転記録(月報)におけるプロセス蒸気圧力(PIC311.PV) 1MPa以上を稼働日とし、「稼働日×24時間」を稼働時間とする。
提出資料 ・ 認定済発電設備の変更申請書 ・ 計量体制/モニタリング方法および提出書類(様式1-2別紙1添付) (計画認定時に提出された申請資料のうち変更となる項目を含む資料名を記入の上、当該資料を添付すること)		

変更理由

(変更の経緯を含め詳細理由を記載すること。また、内容変更年月日、誤りを確認した年月日を併せて記載すること。)

稼働時間のエビデンスとして運転時間表示画面写真を提出しておりますが、日本ノボパン工業株式会社に確認したところ、DCS運転記録(月報)におけるプロセス蒸気圧力(PIC311. PV) 1MPa以上が稼働日であると確認できたため、今後はDCS運転記録(月報)をエビデンスとして提出いたします。

※申請者を変更する場合には、新旧の申請者名を記載すること

以上

種別方法論名称： 木質バイオマス発電

発 電 所 名 称： 日本ノボパン木質バイオマス発電所

1. 計量体制

計量体制(管理体制)	
(1)計量器維持・管理	
責任者	実施者
(2)データの測定	
責任者	実施者
(3)報告書の作成	
報告書作成者	
報告書最終承認者	
報告書受領者(証書発行事業者)	

2. モニタリング方法および提出書類

記号	定義	モニタリング方法	提出書類
EBS	木質バイオマス発電実施期間における系統への逆潮流電力量	検定済み電力計による計測	買電料金支払明細書
EBG	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電発電電力量	検定済み電力計による計測	D C S 運転月報
EBA	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電補機消費電力量	補機定格出力に、電力作業需給月報により把握した稼働時間を乗じた値	D C S 運転月報
FB	発電に使用した木質バイオマス	利用状況報告書にて確認。 バイオマス発熱量については、試験報告書等の値から「低位発熱量×バイオマス投入量」により算出する。	利用状況報告書
Ft	発電に使用した燃料合計	利用状況報告書にて確認。 助燃材発熱量（RPFについては、試験成績表等の値から「低位発熱量×RPF投入量」により算出する。	利用状況報告書

検証結果報告書

2025 年 10 月 8 日

日本自然エネルギー株式会社
代表取締役社長 黒澤 達夫 殿

東京都千代田区神田須田町 1-25
JR 神田万世橋ビル
一般財団法人日本品質保証機構
常務理事 浅田 純男

一般財団法人日本品質保証機構は、日本自然エネルギー株式会社が作成した「認定グリーンエネルギーCO₂削減計画の変更申請書」（排出削減事業の名称：木質バイオマス燃料を利用した発電による CO₂ 排出削減 日付 2025 年 9 月 26 日）について、「グリーンエネルギーCO₂ 削減相当量認証制度運営規則」（2025 年 3 月 7 日経済産業省・環境省）に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

検証結果概要書

一般財団法人日本品質保証機構

1. グリーンエネルギーCO2 削減計画の概要

グリーンエネルギーCO2 削減計画名	木質バイオマス燃料を利用した発電による CO2 排出削減
グリーンエネルギーCO2 削減計画申請者名	日本自然エネルギー株式会社
事業実施場所	大阪府堺市堺区築港南町 4 番地
事業の概要	日本ノボパン木質バイオマス発電所
グリーンエネルギーCO2 削減相当量の計画	「グリーンエネルギーCO2 削減相当量配分計画」によると、 計画段階では保有予定者名は全て未定
事業期間	計画変更認定日～
方法論	$E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$ $S_B = F_B \div F_T$ $E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CE_{Electricity,t}$

2. 検証結果

- 認定済グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更。認定番号 12-B3-013。認定日 2013 年 3 月 29 日。
- 本事業のグリーン電力設備認定日は、2009 年 2 月 25 日、認定番号 08B043。
- 稼働時間エビデンスとして運転時間表示画面写真を提出していたが、DCS 運転記録（月報）の稼働日×24 時間の算出方法へ変更。
- グリーン電力の「認定済発電設備の変更申請」時の審査資料を確認し、今回提出されている「認定グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更申請書」に審査内容が反映されていることを確認。

上記のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO2 削減計画がグリーンエネルギーCO2 削減相当量認証制度運営規則に定める要件および方法論に適合しているものと判断できる。

（添付資料）

各項目の根拠資料

- 1) 認定グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更申請書
- 2) 計量体制（計画認定当時）
- 3) 計量体制 youshik1-2-b1tv1
- 4) 附属書 6 認定済発電設備の変更申請書（ノボパン堺）
- 5) DCS 運転記録（月報）